

添付資料

目 次

- 添付資料－１ 高浜発電所 第１号機 第２８保全サイクル 保全計画
- 添付資料－２ 能登半島地震を踏まえた発電所設備に係る対策（高浜発電所）
について
- 添付資料－３ 高浜発電所 第１号機 設計の経年化評価（内的事象）

添付資料－１ 高浜発電所 第１号機 第２８保全サイクル 保全計画

「1.3 構築物、系統及び機器」に示された発電用原子炉施設に係る点検の実施状況等に関して、「高浜発電所 第1号機 第28保全サイクル 保全計画」をもとに、点検及び試験の項目、点検頻度等を示す。

高 浜 発 電 所
第 1 号 機
第 2 8 保 全 サ イ ク ル
保 全 計 画

添付書類三 施設管理の実施に関する計画

目 次

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。） 及び期間	1
2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期	1
3. 発電用原子炉施設の点検、検査の方法、実施頻度及び時期	2
4. 発電用原子炉施設の工事及び点検を実施する際に行う保安の確保のための 措置	2

別紙：点検計画（第28保全サイクル）

別図：定期事業者検査時の安全管理の計画

別表：長期施設管理方針実施状況総括表

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第28回定期事業者検査開始日から次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列する日の前日までの期間（第28回定期事業者検査終了以降13ヶ月までの間※）とし、以降、この期間を第28保全サイクルという。

ただし、この期間内に次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列した場合には、その前日までの期間とする。

※：この間を『実運転期間』という。

2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期

(1) 工事の計画

a. 火災報知器設置工事：設計及び工事の計画の認可申請

○ 工事概要

新火災防護基準バックフィット対応として、火災区域に対し、異なる種類の火災感知器を消防法に準じた箇所に設置する。

○ 予定時期

第28回定期事業者検査期間中（完了予定：2024年8月）

b. 燃料集合体最高燃焼度制限 55,000MWd/t 燃料設置工事：工事計画の認可申請

○ 工事概要

使用済燃料発生量の低減を図るため、燃料集合体最高燃焼度を 48,000MWd/t から 55,000MWd/t へ上昇させた燃料を使用する。

○ 予定時期

第28回定期事業者検査期間中（完了予定：2024年9月）

c. 減容バーナブルポイズン保管場所変更工事：設計及び工事の計画の認可申請

○ 工事概要

使用済燃料ピットに貯蔵している減容したバーナブルポイズンを、固体状の放射性廃棄物の運搬用容器に収納し、既設のB蒸気発生器保管庫へ運搬して保管する。

○ 予定時期

第28保全サイクル期間中（完了予定：2025年3月）

d. 抽出水オリフィス取替工事

○ 工事概要

余熱除去系の信頼性向上の観点より、プラント起動時に化学体積制御系統を用いた一次冷却材系統の圧力調整が実施できるよう、当該系統の抽出水オリフィスを口径の大きいものに取り替える。

○ 予定時期

第28回定期事業者検査期間中（完了予定：2024年8月）

e. 1次系強加工曲げ配管取替工事

○ 工事概要

1次系配管の信頼性向上の観点から、配管製作時の強加工により形成された硬化層を有する曲げ配管について、硬化層が形成されていない曲げ配管に取り替える。

○ 予定時期

第28回定期事業者検査期間中（完了予定：2024年8月）

3. 発電用原子炉施設の点検、検査の方法、実施頻度及び時期

(1) 点検計画

定期事業者検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「高浜発電所 保守業務所則（平成5高原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「高浜発電所 土木建築業務所則（平成19高原土所則 第1号）」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・保全活動管理指標の監視結果
- ・保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・トラブルなど運転経験
- ・高経年化技術評価および定期安全レビュー結果
- ・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・リスク情報、科学的知見

4. 発電用原子炉施設の工事及び点検を実施する際に行う保安の確保のための措置

定期事業者検査停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。

また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特にない。

点 検 計 画
(第 2 8 保全サイクル)

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、設計及び工事の計画に記載が要求されている設備

なお、設計及び工事の計画において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a) 防保護具、現地操作時に用いる工具類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

②保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a. 安全機能の重要度が高い設備

b. 供給信頼性重要度が高い設備

c. リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・ 定期事業者検査に係る点検
- ・ 定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備※¹の点検等）については、「高浜発電所 保守業務所則（平成5高原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」及び「高浜発電所 土木建築業務所則（平成19高原土所則 第1号）」に定めている。

※1：附帯設備の例

潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフ
イス、レデューサ、フローグラス 等

(3) 保全の重要度について

「社内マニュアル」等の考え方に従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。
なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全（時間基準保全、状態基準保全）を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・ 時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・ 状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・ 事後保全を採用しているもの：BM

(5) 点検頻度について

次の整理により「F」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年で表記している。

- ・ 性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間（総合負荷性能検査～解列）に対応した値を示している。
また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
- ・ 供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・ 機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」※²と表記している。なお、回転機器（ポンプ、ファン等）等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
- ・ これ以外で、性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」※²により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該点検が、プラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・ このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
- ・ 定期的な頻度をもたずに実施する点検については、「X」により表記している。

※2：「B」「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

- ・時間基準保全の点検については、“定期事業者検査起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、定期事業者検査停止中に実施することとしている。
- ・プラント停止（定期事業者検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備を備考欄に明記し、区別する。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

なお、第28保全サイクル中に点検を実施するものについては「点検計画」に「○」※³を記載している。

また「点検計画」には、当該点検の前回実績（実施時期）※⁴も記載している。

※3：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクルの中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※4：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあつては、最新実績を記載している。

目 次※

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/56
【炉心】	
【原子炉容器】	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/56
【燃料取扱設備】	
【使用済燃料貯蔵設備】	
【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】	
【燃料取替用水設備】	
原子炉冷却系統施設	3/56
【一次冷却材の循環設備】	
【主蒸気・主給水設備】	
【余熱除去設備】	
【非常用炉心冷却設備】	
【化学体積制御設備】	
【蒸気タービンの附属設備】	
【原子炉補機冷却水設備】	
【原子炉補機冷却海水設備】	
【原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置】	
計測制御系統施設	17/56
【制御材】	
【制御棒駆動装置】	
【工学的安全施設等の作動信号】	
【ほう酸注入機能を有する設備】	
【制御用空気設備】	
【その他設備】	
放射性廃棄物の廃棄施設	21/56
【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	
【原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置】	
放射線管理施設	28/56
【放射線管理用計測装置】	
【生体遮蔽装置】	
【換気設備】	
【その他設備】	
原子炉格納施設	40/56
【原子炉格納容器】	
【圧力低減設備その他の安全設備】	
原子力設備	44/56
【その他設備】	

機器又は系統名	ページ
原子力設備・タービン設備	45/56
【その他設備】	
蒸気タービン	45/56
【車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸】	
【调速装置及び非常调速装置並びに调速装置で制御される主要弁】	
【復水器】	
【蒸気タービンに附属する熱交換器】	
【蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備】	
【蒸気タービンに附属する管等】	
【その他設備】	
その他発電用原子炉の附属施設	53/56
【浸水防護施設】	
【常用電源設備】	
【火災防護施設】	
【非常用発電装置】	
【その他の電源装置】	
土木建築設備	56/56
プラント総合	56/56
非常用取水設備	56/56
【取水設備】	

別表－１：クラス１機器供用期間中検査７年計画
 別表－２：クラス２機器供用期間中検査１０年計画
 別表－３：クラス３機器供用期間中検査１０年計画
 別表－４：クラス１機器Ni基合金使用部位特別検査７年計画
 別表－５：クラス２管（原子炉格納容器内）特別検査１０年計画
 別表－６：原子炉格納容器供用期間中検査１０年計画
 別表－７：重大事故等クラス１機器供用期間中検査１０年計画
 別表－８：重大事故等クラス２機器供用期間中検査１０年計画
 別表－９：重大事故等クラス３機器供用期間中検査１０年計画
 別表－１０：クラス１配管特別検査４年計画

※特定重大事故等対処施設に関する事項については添付資料七に記載する。

1. 点検計画

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
原子炉本体 【炉心】	照射済燃料集合体	※ 1式	1. 外観点検	高	1F	○	27回	燃料集合体外観検査	※：炉心設計による
	照射済燃料集合体（取出燃料）	※ 1式	1. 外観点検	高	1F	○	27回		※：炉心設計による
	燃料集合体	157体	1. 外観点検（炉内配置）	高	1F	○	27回	燃料集合体炉内配置検査	
	内挿物 （1）制御棒クラスタ （2）ハーナブルボイスン （3）ブラッキングデバイス （4）2次中性子源	※ 1式	1. 外観点検（炉内配置）	高	1F	○	27回	燃料集合体炉内配置検査	※：炉心設計による
	原子炉本体のうち炉心		1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	原子炉停止余裕検査 炉物理検査	定期事業者検査起動後
原子炉本体 【原子炉容器】	原子炉容器		1. 開放点検	高	13M	○	27回		
	制御棒クラスタ案内管支持ピン	104本	1. 外観点検	高	5F	－	27回	構造健全性検査	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵 施設 【燃料取扱設備】	燃料移送装置	1式	1. 機能・性能試験（リフティンググラフレー ム） 1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	一部先行実施
	燃料取扱クレーン		2. 分解点検他		39M～195M	－	27回		
			1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	
			2. 分解点検他		39M～195M	－	27回		
	燃料ピットクレーン		1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	高	1F	○	27回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等） 1次系換気空調設備検査	先行実施
	新燃料エレベータ		1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	先行実施
			2. 分解点検他	高	39M～195M	－	27回		
	補助建屋クレーン		1. 機能・性能試験 2. 簡易点検（年次点検）	高	1F	○	27回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	
	燃料取扱工具	1式	1. 外観点検	高	1F	○	27回	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	プラント運転中 保全の有効性評価結果No.10の反映
	制御棒取換装置		1. 外観点検	高	1F	○	27回	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設【燃料取扱設 備】その他機器	1式	1. 分解点検他	高・低	13M～158M	○	27回		先行実施

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目		保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵設備〕	事故時監視計器 水位監視計器 温度監視計器 1次系計測制御装置	1個 1個 1式	1. 特性試験		高	13M	○	27回	プラント状態監視設備機能検査	27回定期事業者検査時に設置
		1式	1. 特性試験		高・低	13M	○	27回	計測制御系監視機能検査	一部27回定期事業者検査時に設置
		1式	1. 機能・性能試験		高	13M	○	27回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	27回定期事業者検査時に設置
		1式	1. 特性試験他		高	276M	—	—		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔使用済燃料貯蔵設備〕その他機器 可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機	2台	1. 特性試験		高	1Y	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	
			2. 分解点検（ポンプ）			10Y	—	—		
			2. 分解点検（電動機）			78M	—	—		
		3台	1. 機能・性能試験		高	1Y	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	
	送水車	3台	1. 機能・性能試験		高	1Y	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	27回定期事業者検査時に設置
		3台	2. 分解点検			10Y	—	—		27回定期事業者検査時に設置
	使用済燃料ピット浄化設備 A使用済燃料ピットポンプ・電動機		1. 機能・性能試験（ポンプ、電動機含む）		低	1F	○	27回	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	
			1. 分解点検（ポンプ）		低	130M	—	26回		先行実施 （振動診断：6M）
			1. 分解点検（電動機）			CBM	—	27回		
			2. 簡易点検（潤滑油入替他）			13M	○	27回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	B使用済燃料ピットポンプ・電動機		1. 分解点検（ポンプ）		低	130M	—	27回		先行実施 （振動診断：6M）
			1. 分解点検（電動機）			CBM	—	27回		
			2. 簡易点検（潤滑油入替他）			13M	○	27回		
			1. 開放点検		高	130M	—	27回		先行実施
	A燃料ピットクレーラ		1. 開放点検（管側）		低	195M	—	24回		先行実施
			1. 開放点検（胴側）			195M	—	—		保全の有効性評価結果No. 2の反映
			2. 非破壊試験			195M	—	24回	1次系熱交換器検査	
			1. 開放点検（管側）		低	195M	—	27回		先行実施
	B燃料ピットクレーラ		1. 開放点検（胴側）			195M	—	—		保全の有効性評価結果No. 3の反映
			2. 非破壊試験			195M	—	27回	1次系熱交換器検査	
			1. 機能・性能試験		低	260M	—	—		
			2. 分解点検			260M	—	23回	1次系逆止弁検査	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕その他 の弁	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕その他機器	1式	1. 分解点検他		高	104M～130M	○	27回		一部先行実施
		1式	1. 分解点検他		低	13M～130M	○	27回		一部BMあり 一部先行実施

機器又は系統名	実施機（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	－	27回	1 次系ポンプ機能検査	先行実施 （振動診断：3M） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		130M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	B 燃料取替用水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	－	27回	1 次系ポンプ機能検査	先行実施 （振動診断：3M） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		130M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔燃料取換用 水設備〕その他の弁	1. 機能・性能試験	高	B	－	27回	1 次系安全弁検査	
		2. 分解点検		130M	－	27回	1 次系安全弁検査	
		2. 分解点検	高	156M	－	23回		
		2. 分解点検		104M～130M	○	27回		
原子炉冷却系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕	A 蒸気発生器	1. 分解点検他	低	104M～208M	○	27回		一部先行実施
		1. 非破壊試験	高	26M	－	27回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		2. 開放点検		13M	○	27回		
		3. 簡易点検（スラッジランシング）		13M	○	27回		
	B 蒸気発生器	3. 簡易点検（ガスケット取替他）		13M	○	27回		
		1. 非破壊試験	高	26M	○	26回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		2. 開放点検		13M	○	27回		
		3. 簡易点検（スラッジランシング）		13M	○	27回		
	C 蒸気発生器	3. 簡易点検（ガスケット取替他）		13M	○	27回		
		1. 非破壊試験	高	26M	－	27回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		2. 開放点検		13M	○	27回		
		3. 簡易点検（スラッジランシング）		13M	○	27回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
原子炉冷却系統施設 【一次冷却材の循環設備】	加圧器安全弁	1V-8010A 1V-8010B 1V-8010C	高	1F	○	27回	加圧器安全弁機能検査	
		2. 漏えい試験		B	○	27回	加圧器安全弁漏えい検査	
		3. 分解点検		13M	○	27回	加圧器安全弁分解検査	
	加圧器逃がし弁	1PCV-445	高	1F	○	27回	加圧器逃がし弁機能検査	
		2. 漏えい試験		1F	○	27回	加圧器逃がし弁漏えい検査	
		3. 分解点検		26M	○	27回	加圧器逃がし弁分解検査	
	加圧器逃がし弁駆動部	1PCV-445	高	13M	○	27回		
		2. 簡易点検（特性試験）		13M	○	27回		
		1. 機能・性能試験（駆動部含む）		1F	○	27回	加圧器逃がし弁機能検査	
	加圧器逃がし弁元弁	1PCV-444A	高	1F	○	27回	加圧器逃がし弁漏えい検査	
		2. 漏えい試験		1F	○	27回	加圧器逃がし弁漏えい検査	
		3. 分解点検		26M	○	27回	加圧器逃がし弁分解検査	
	加圧器逃がし弁駆動部	1PCV-444A	高	13M	○	27回		
		2. 簡易点検（特性試験）		13M	○	27回		
		1. 機能・性能試験（駆動部含む）		1F	○	27回	加圧器逃がし弁元弁機能検査	
	加圧器逃がし弁元弁	1MOV-8000A	高	78M	－	27回		
		2. 分解点検		78M	－	27回		
		3. 簡易点検（グラントバッキング取替）		78M	－	27回		
	加圧器逃がし弁元弁駆動部	1MOV-8000A	高	156M	－	19回		
		1. 分解点検		1F	○	27回	加圧器逃がし弁元弁機能検査	
		2. 分解点検		78M	－	27回		
	加圧器逃がし弁元弁	1MOV-8000B	高	78M	－	27回		
		2. 分解点検		78M	－	27回		
		3. 簡易点検（グラントバッキング取替）		78M	－	27回		
	加圧器逃がし弁元弁駆動部	1MOV-8000B	高	156M	－	18回		
		1. 分解点検						

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 【一次冷却材の循環設備】	A 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
		2. 分解点検（ポンプ）		130M	－	20回		
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	27回		
		2. 分解点検（メカニカルシール）		13M	○	27回	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施
		2. 分解点検（フライホイール）		104M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	B 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
		2. 分解点検（ポンプ）		130M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		52M	○	25回		
		2. 分解点検（メカニカルシール）		13M	○	27回	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施
		2. 分解点検（フライホイール）		104M	○	21回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	C 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
		2. 分解点検（ポンプ）		130M	○	18回		
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	26回		
		2. 分解点検（メカニカルシール）		13M	○	27回	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施
		2. 分解点検（フライホイール）		104M	－	26回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	加圧器	1. 開放点検	高	39M	－	27回		
		2. 簡易点検（マンホールガスクケット取替）		13M	○	27回		
	原子炉冷却系統施設【一次冷却材の循環設備】その他	1. 機能・性能試験	高	B	○	27回	1 次系弁検査	
		2. 分解点検		26M～260M	○	27回	1 次系弁検査 1 次系逆止弁検査	
	原子炉冷却系統施設【一次冷却材の循環設備】その他	1. 機能・性能試験	高	B	○	27回	1 次系弁検査	
		2. 分解点検		13M	○	27回		
		3. 簡易点検（特性試験他）		13M～26M	○	27回		
	原子炉冷却系統施設【一次冷却材の循環設備】その他	1. 分解点検他	高	39M～130M	○	27回		
		1. 分解点検他		52M～130M	○	27回		一部BMあり

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	主蒸気安全弁	IMS-521A IMS-522A IMS-523A IMS-524A IMS-525A IMS-526A IMS-527A IMS-524B IMS-525B IMS-526B IMS-527B	高	1F	○	27回	主蒸気安全弁機能検査	
		2. 漏えい試験		B	○	27回	主蒸気安全弁漏えい検査	
		3. 分解点検		26M	○	27回		
		1. 機能・性能試験		1F	○	27回	主蒸気安全弁機能検査	
		2. 漏えい試験		B	－	27回	主蒸気安全弁漏えい検査	
		3. 分解点検		26M	－	27回		
		1. 機能・性能試験 (駆動部含む)		1F	○	27回	主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	
		2. 漏えい試験		B	○	27回	主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		3. 分解点検		13M	○	27回		
	主蒸気逃がし弁駆動部	1. 分解点検	高	13M	○	27回		
		2. 簡易点検(特性試験)		13M	○	27回		
		1. 機能・性能試験 (駆動部含む)		1F	○	27回	主蒸気隔離弁機能検査	
	主蒸気隔離弁	2. 分解点検	高	39M	－	27回	2次系弁検査	
		2. 分解点検		39M	○	27回	2次系弁検査	
		2. 分解点検		39M	－	27回	2次系弁検査	
		1. 分解点検		39M	－	27回		
	主蒸気隔離弁駆動部	1. 分解点検	高	39M	○	27回		
				39M	－	27回		
		1. 分解点検		39M	－	27回		

機器又は系統名	実施機（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（点検回 次）	検査名	備考 （（）内は適用する 設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	原子炉冷却系統施設 他の弁	1. 1式	高	B	○	27回	1 次系弁検査 2 次系弁検査	
		2. 分解点検		52M～130M	○	27回	1 次系逆止弁検査 2 次系弁検査	
		3. 簡易点検(グラウンドバッキング取替)		130M	—	27回		
	原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 他の弁駆動部	1. 1式	高	B	○	27回	2 次系弁検査 1 次系弁検査	
		2. 分解点検		52M～156M	○	27回		
		3. 簡易点検(特性試験)		26M～52M	○	27回		
	原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 他機器	1. 1式	高	65M～260M	○	27回		
		1. 分解点検他		65M～260M	○	27回	1 次系逆止弁検査	一部BMあり
		1. 機能・性能試験		B※	—	27回	1 次系ポンプ機能検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 (振動診断：1 M)
原子炉冷却系統施設 〔余熱除去設備〕	A 余熱除去ポンプ・電動機	2. 分解点検(ポンプ)	高	78M	—	27回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検(電動機)		78M	—	27回		
		3. 簡易点検(潤滑油入替他)		26M	○	27回		
	B 余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	—	27回	1 次系ポンプ機能検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 (振動診断：1 M)
		2. 分解点検(ポンプ)		78M	—	27回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検(電動機)		78M	—	27回		
	A 余熱除去クーラ	3. 簡易点検(潤滑油入替他)	高	26M	—	27回		
		1. 開放点検(管側)		130M	—	27回		
		1. 開放点検(胴側)		130M	—	—		
	B 余熱除去クーラ	2. 非破壊試験	高	130M	—	27回	1 次系熱交換器検査	
		1. 開放点検(管側)		130M	—	27回		
		1. 開放点検(胴側)		130M	—	—		
	A 余熱除去クーラ	2. 非破壊試験	高	130M	—	27回	1 次系熱交換器検査	
		1. 開放点検(管側)		130M	—	27回		
		1. 開放点検(胴側)		130M	—	—		
	B 余熱除去クーラ	2. 非破壊試験	高	130M	—	27回	1 次系熱交換器検査	
		1. 開放点検(管側)		130M	—	27回		
		1. 開放点検(胴側)		130M	—	—		

機器又は系統名	実施版（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （（ ）内は適用する 設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 〔余熱除去設備〕	低圧注入系主要弁	1V-8935A	高	130M	—	27回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8935B	高	130M	—	27回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8940A	高	130M	—	26回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8940B	高	130M	—	26回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8945A	高	130M	—	26回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8945B	高	130M	—	26回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8945C	高	130M	—	26回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8973A	高	130M	—	26回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8973B	高	130M	○	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	原子炉冷却系統施設「余熱除去設備」その他の弁	1V-8973C	高	130M	—	27回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1式	高	B	—	27回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
				52M～130M	○	27回	1次系弁検査	
		1式	高	B	—	27回	1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設「余熱除去設備」その他の弁 駆動部			52M～156M	○	27回		
				26M～52M	○	27回		
				65M～130M	○	27回		
	原子炉冷却系統施設「余熱除去設備」その他機器	1式	高	130M	—	27回		
			低	130M	—	27回		一部BMあり
	その他AM（代替再循環）機器	1式	高	182M	○	18回	1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
原子炉冷却系統施設 【非常用炉心冷却設備】	高圧及び低圧注入系 【余熱除去設備（低圧注入機能）を含む】	1. 機能・性能試験（ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む）	高	1F	○	27回	非常用炉心冷却系機能検査	
	その他原子炉注水系	1. 機能・性能試験（ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む）	高	1F	○	27回	その他原子炉注水系機能検査	【対象設備】 ・ A、B、C 東てん／高圧注入ポンプ ・ A、B 余熱除去ポンプ
	高圧注入系主要弁	1MOV-8801A	1. 分解点検	高	—	24回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1MOV-8801B	1. 分解点検	高	—	24回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1MOV-8803A	1. 分解点検	高	—	24回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1MOV-8803B	1. 分解点検	高	—	27回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1LCV-115B	1. 分解点検	高	—	27回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1LCV-115D	1. 分解点検	高	—	27回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8937A	1. 分解点検	高	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		1V-8937B	1. 分解点検	高	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		1V-8937C	1. 分解点検	高	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		1V-8939A	1. 分解点検	高	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		1V-8939B	1. 分解点検	高	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		1V-8939C	1. 分解点検	高	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		1V-8940C	1. 分解点検	高	—	26回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		1V-8942A	1. 分解点検	高	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		1V-8942B	1. 分解点検	高	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		1V-8942C	1. 分解点検	高	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		1V-8944A	1. 分解点検	高	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8944B	1. 分解点検	高	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8944C	1. 分解点検	高	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入系主要弁駆動部	1式	1. 分解点検	高	○	26回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕	蓄圧注入系	1. 機能・性能試験（弁、弁駆動部含 む）	高	1F	○	27回	非常用炉心冷却系統機能検査	
	蓄圧注入系主要弁	1MOV-8808A	高	78M	－	27回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1MOV-8808B	高	78M	－	27回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1MOV-8808C	高	78M	－	27回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8948A	高	130M	－	24回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8948B	高	130M	－	24回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8948C	高	130M	－	24回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8956A	高	130M	－	27回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8956B	高	130M	－	27回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1V-8956C	高	130M	－	27回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1式	高	156M	－	27回		
	Aアキユムレータ	1. 開放点検	高	130M	－	27回		
	Bアキユムレータ	1. 開放点検	高	130M	－	27回		
	Cアキユムレータ	1. 開放点検	高	130M	－	25回		
	ほう酸注入タンク	1. 開放点検	高	130M	－	27回		
	燃料取扱替用水タンク	1. 開放点検	高	130M	－	27回		
	格納容器サンプB	1. 外観点検	高	1F	○	27回		
	格納容器内循環サンプスクリーン	1. 外観点検	高	10Y	－	23回	原子炉格納容器内循環サンプスクリーン検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期 (定検回 次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	恒設代替低圧注水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	27回	原子炉格納容器安全系機能検査 その他原子炉注水系機能検査	27回定期事業者検査時に設置
	恒設代替低圧注水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B	—	—		
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	27回定期事業者検査時に設置
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	—		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13M	○	—		
	原子炉下部キャビティ注水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁)	高	1F	○	27回	原子炉格納容器安全系機能検査 その他注水系機能検査	27回定期事業者検査時に設置
	原子炉下部キャビティ注水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B	—	—		
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	27回定期事業者検査時に設置
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	—		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13M	○	—		
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	27回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
		2. 分解点検		13M～260M	○	27回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
		3. 簡易点検 (グラントバッキング取替)		65M～130M	—	27回		
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その1式	1. 機能・性能試験	高	B	○	27回	1次系弁検査	
		2. 分解点検		13M～182M	○	27回		
		3. 簡易点検 (特性試験)		13M～52M	○	27回		
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その1式	1. 分解点検他	高	52M～260M	○	27回		
		1. 分解点検他	低	13M～130M	○	27回		一部BMあり

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
原子炉冷却系統施設 【化学体積制御設備】	化学体積制御系	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	化学体積制御系機能検査	定期事業点検（起動後）
	A充てん／高圧注入ポンプ・電動機	1. 分解点検（ポンプ）	高	117M	－	27回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	（振動診断：3M）
		1. 分解点検（電動機）		104M	－	27回		
		2. 簡易点検（潤滑油入替他）		39M	○	27回		
	B充てん／高圧注入ポンプ・電動機	1. 分解点検（ポンプ）	高	117M	－	27回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	（振動診断：3M）
		1. 分解点検（電動機）		104M	－	27回		
		2. 簡易点検（潤滑油入替他）		39M	○	27回		
	C充てん／高圧注入ポンプ・電動機	1. 分解点検（ポンプ）	高	117M	－	27回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	（振動診断：3M）
		1. 分解点検（電動機）		104M	－	27回		
		2. 簡易点検（潤滑油入替他）		39M	○	27回		
	体積制御タンク	1. 開放点検	高	130M	－	27回		
	冷却材フィルタ	1. 開放点検	高	130M	－	27回		
	抽出水非再生クーラ	1. 開放点検（管側）	高	130M	－	26回		
		1. 開放点検（胴側）		130M	－	－		
		2. 非破壊試験		130M	－	26回	1次系熱交換器検査	
	原子炉冷却系統施設【化学体積制御設備】その他 1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	27回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
		2. 分解点検		26M～260M	○	27回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査	
		1. 機能・性能試験	高	B	○	27回	1次系弁検査	
原子炉冷却系統施設【化学体積制御設備】その他 1式	原子炉冷却系統施設【化学体積制御設備】その他 1式	2. 分解点検		26M～156M	○	27回		
		3. 簡易点検（特性試験他）	高・低	13M～65M	○	27回		
		1. 分解点検他	高	13M～260M	○	27回		一部先行実施
	原子炉冷却系統施設【化学体積制御設備】その他 1式	1. 分解点検他	低	13M～208M	○	27回		一部BMあり

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕	補助給水系	1. 機能・性能試験（ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む） 1. 分解点検（ポンプ）	高	1F	○	27回	補助給水系機能検査	
	A 電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検（電動機） 2. 簡易点検（潤滑油入替他）	高	130M 104M 13M	－ － ○	27回 27回 27回	補助給水系ポンプ分解検査	
		1. 分解点検（ポンプ） 1. 分解点検（電動機） 1. 簡易点検（潤滑油入替他）	高	130M 104M 13M	－ － ○	27回 27回 27回	補助給水系ポンプ分解検査	
	B 電動補助給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検（潤滑油入替他）	高	B 52M 13M	－ － ○	27回 27回 27回	2次系ポンプ機能検査	
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検（グラインド入替）	高	52M 130M 65M～130M	－ － －	27回 27回 27回	2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設〔蒸気タービンの附属設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検（特性試験他）	高	52M 130M 65M～130M	－ － －	27回 27回 27回	2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設〔蒸気タービンの附属設備〕 その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検（特性試験他）	高	52M 13M～156M 26M～52M	○ ○ ○	27回 27回 27回		
	原子炉冷却系統施設〔蒸気タービンの附属設備〕 1式 その他機器	1. 分解点検他 1. 分解点検他	高	65M～260M 13M～130M	○ ○	27回 27回		
			低					

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕	原子炉補機冷却系	1.機能・性能試験（弁、弁駆動部含む）	高	1F	○	27回	原子炉補機冷却系統機能検査	
	A 1 次系冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	－	27回	1 次系ポンプ機能検査	(振動診断：3 M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		78M	－	27回		
		2.分解点検（電動機）		104M	－	27回		
		3.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	B 1 次系冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	－	27回	1 次系ポンプ機能検査	(振動診断：3 M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		78M	－	27回		
		2.分解点検（電動機）		104M	－	27回		
		3.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	C 1 次系冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	－	27回	1 次系ポンプ機能検査	(振動診断：3 M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		78M	－	27回		
		2.分解点検（電動機）		104M	－	27回		
		3.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	D 1 次系冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	－	27回	1 次系ポンプ機能検査	(振動診断：3 M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		78M	－	27回		
		2.分解点検（電動機）		104M	－	27回		
		3.簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	大容量ポンプ	1.機能・性能試験	高	1Y	○	－	可搬型重大事故等対処設備機能検査	27回定期事業者検査時に設置
		2.分解点検		10Y	－	－		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕	A 1次系冷却水クーラ	1. 開放点検	高	13M	○	27回		
		2. 非破壊試験		13M	○	27回	1次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		13M	○	27回		
	B 1次系冷却水クーラ	1. 開放点検	高	13M	○	27回		
		2. 非破壊試験		13M	○	27回	1次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		13M	○	27回		
	C 1次系冷却水クーラ	1. 開放点検	高	13M	○	27回		
		2. 非破壊試験		13M	○	27回	1次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		13M	○	27回		
	1次系冷却水タンク	1. 開放点検	高	130M	—	27回		
		1. 分解点検	高	130M	—	27回	1次系真空破壊弁検査	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	27回定期事業者検査時に設置
	可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	2. 本格点検		130M	—	—		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	—		
		1. 機能・性能試験	高・低	B	○	27回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却水設備〕そ の他の弁	2. 分解点検		130M～260M	○	27回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
		1. 機能・性能試験	高	B	○	27回	1次系弁検査	
		2. 分解点検		13M～182M	○	27回		
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却水設備〕そ の他の弁駆動部	3. 簡易点検（特性試験）		65M	—	27回		
		1. 分解点検他	高	13M～260M	○	27回		
		1. 分解点検他	低	13M～156M	○	27回		一部BMあり

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備（診断技術）
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	原子炉補機冷却海水系	1. 機能・性能試験（弁、弁駆動部含む）	高	1F	○	27回	原子炉補機冷却系統機能検査	
	A 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	○	27回	2次系ポンプ機能検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		26M	○	27回	2次系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		26M	○	27回		
	B 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	○	27回	2次系ポンプ機能検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		26M	○	27回	2次系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		26M	－	27回		
	C 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	○	27回	2次系ポンプ機能検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		26M	○	27回	2次系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		26M	○	27回		
	D 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	○	27回	2次系ポンプ機能検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		26M	○	27回	2次系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		26M	－	27回		
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高	B	－	27回	2次系弁検査	
		2. 分解点検		78M～117M	－	27回	2次系弁検査	
		1. 機能・性能試験		B	－	27回	2次系弁検査	
		2. 分解点検		13M～117M	○	27回		
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の機器	1. 分解点検他	高	13M～195M	○	27回		
		1. 分解点検他		1M～195M	○	27回		一部BMあり

機器又は系統名	実施機（機器名）		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
原子炉冷却系統施設 【原子炉格納容器内の一次冷却 材の漏えいを監視する装置】	格納容器サンプA水位上昇率測定装置、格納容器 内凝縮液量測定装置、炉内計装用シンブル配管室 ドレンピット漏えい検出装置に係る設備	1式	1. 特性試験 2. 機能・性能試験	高	13M	○	27回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内 凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	一部27回定期事業者検査時に設置
		※ 1式	1. 外観点検	高	1F	○	27回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内 凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	一部27回定期事業者検査時に設置
		※ 1式	1. 外観点検	高	1F	○	27回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
		※ 1式	1. 外観点検	高	1F	○	27回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
		※ 1式	1. 外観点検	高	1F	○	27回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
計測制御系統施設 【制御棒駆動装置】	照射済制御棒クラスタ 照射済バーナルブルボイスン 照射済ブラギングデバイス 照射済2次中性子源 制御棒クラスタ A制御棒駆動装置MGセット（発電機・電動機）	計48本	1. 機能・性能試験	高	26M	○	27回	制御棒駆動系機能検査 制御棒クラスタ動作検査	
			1. 機能・性能試験	高	B※	－	27回		(振動診断：3M) ※発電機または電動機の分解点検に合わせて実施
			2. 分解点検（発電機）		78M	－	27回		
			2. 分解点検（電動機）		CBM	－	20回		
			3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
計測制御系統施設 【工学的安全施設等の作動信 号】	A TWS 緩和設備	1式	1. 機能・性能試験	高	B※	○	23回		(振動診断：3M) ※発電機または電動機の分解点検に合わせて実施
			2. 分解点検（発電機）		78M	○	23回		
			2. 分解点検（電動機）		CBM	－	21回		
			3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
			1. 機能・性能試験	高	13M	○	27回	重大事故時安全停止回路機能検査	27回定期事業者検査時に設置
			2. 特性試験		13M	○	27回	重大事故時安全停止回路機能検査	27回定期事業者検査時に設置

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術 （振動診断：1M） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
計測制御系統施設 【ほう酸注入機能を有する設 備】	A ほう酸ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	－	27回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		78M	－	27回	ほう酸ポンプ分解検査	
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	B ほう酸ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	－	27回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		78M	－	27回	ほう酸ポンプ分解検査	
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	C ほう酸ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	－	27回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		78M	－	27回	ほう酸ポンプ分解検査	
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	A 1 次系純水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	24回	1 次系ポンプ機能検査	(振動診断：6M（対象：ポンプ）) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		CBM	－	13回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	24回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		26M	○	27回		
	B 1 次系純水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	24回	1 次系ポンプ機能検査	(振動診断：6M（対象：ポンプ）) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		CBM	－	14回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	24回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		26M	○	27回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
計測制御系統施設 〔ほう酸注入機能を有する設 備〕	A ほう酸タンク	1. 開放点検	高	130M	－	27回		
	B ほう酸タンク	1. 開放点検	高	130M	－	27回		
	1 次系純水タンク	1. 開放点検	低	130M	－	27回		
	1 次系純水タンクアトモス弁	1. 分解点検	低	130M	－	27回	1 次系真空破壊弁検査	
	1 次系純水タンクバキニウムリリーブ弁	1. 分解点検	低	130M	－	27回	1 次系真空破壊弁検査	
	ほう酸フィルタ	1. 開放点検	高	130M	－	27回		
	計測制御系統施設〔ほう酸注入機能を有する設 備〕その他の弁	1 式	高・低	130M～260M	○	27回	1 次系弁検査 1 次系逆止弁検査	
	計測制御系統施設〔ほう酸注入機能を有する設 備〕その他機器	1 式	高	13M～130M	○	27回		
	計器用空気圧縮機	2 台	低	13M～130M	○	27回	制御用空気圧縮系機能検査	一部先行実施 一部BMあり
	A 計器用空気圧縮機・電動機	1. 分解点検（圧縮機） 1. 分解点検（電動機） 2. 簡易点検（Vベルト調整） 2. 簡易点検（潤滑油入替他）	高	26M CBM 26M 13M	○ － － ○	27回 19回 27回 27回		（振動診断：3 M（対象：電動機））
計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕	B 計器用空気圧縮機・電動機	1. 分解点検（圧縮機） 1. 分解点検（電動機） 2. 簡易点検（Vベルト調整） 2. 簡易点検（潤滑油入替他）	高	26M CBM 26M 13M	－ － ○ ○	27回 20回 27回 27回		（振動診断：3 M（対象：電動機））
	計測制御系統施設〔制御用空気設備〕その他の弁	1 式	高	B	○	27回	1 次系安全弁検査	
		2. 分解点検		78M～182M	－	27回	1 次系逆止弁検査	
	計測制御系統施設〔制御用空気設備〕その他機器	1 式	高	13M～130M	○	27回		
		1. 分解点検他	低	12M～48M	○	27回		一部BMあり

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
計測制御系統施設 【その他設備】	1. 原子炉保護系ロジック回路 2. 安全防護系ロジック回路	33回路 25回路	高	1F	○	27回	安全保護系機能検査	
	1. 原子炉施設保安規定に定める原子炉トリップ、 工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を 行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電 器 (1) 1 次冷却材等計測装置 伝送器 設定器 保護継電器 (2) 核計測装置 設定器 2. 重要な指示計器 (1) 1 次冷却材等計測装置 (2) 核計測装置	78個 141個 24個 26個 41個 8個	高	13M	○	27回	安全保護系設定値確認検査	一部27回定期事業者検査時に設置 一部定期事業者検査起動後
	事故時監視計器 圧力監視計器 水位監視計器 流量監視計器 温度監視計器	5個 20個 10個 8個	高	13M	○	27回	プラント状態監視設備機能検査	一部27回定期事業者検査時に設置
	事故時試料採取設備 格納容器雰囲気試料採取設備	1台	高	1F	○	27回	プラント状態監視設備機能検査	
	1. 制御核制御系 2. 加圧器水位制御系 3. 加圧器圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系	1式	高・低	13M	○	27回	計測制御系監視機能検査	
	1 次系及び 2 次系計測制御装置	1式	高・低	13M	○	27回	計測制御系監視機能検査	一部27回定期事業者検査時に設置 一部定期事業者検査起動後
	炉外核計測装置 中性子源領域計測装置 中間領域計測装置 出力領域計測装置	2台 2台 2台 8台	高	13M	○	27回	核計装設備検査	一部27回定期事業者検査時に設置 一部定期事業者検査起動後
	炉内核計装装置	1式	高・低	1F	○	27回	核計装設備検査	
			高・低	13M～104M	○	27回	核計装設備検査	
	炉内計装用シンブルチューブ	50本	高	39M	－	27回	炉内計装用シンブルチューブ体積検査	
	制御棒位置指示装置	1式	高	13M	○	27回	制御棒位置指示装置設定値検査	
	1. パーミッショニングロジック回路 原子炉保護系 2. パーミッショニングロジック回路 安全防護系	5回路 3回路	高	1F	○	27回	安全保護系機能検査	
	総合インターロック 1. タービントリップによる原子炉、発電機トリッ プ 2. 発電機トリップによる原子炉、タービントリッ	1式	高	1F	○	27回	総合インターロック検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
計測制御系統施設 【その他設備】	原子炉の停止制御回路	1. 1式	高	1F	○	27回	原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
	可搬型格納容器ガス試料圧縮装置	1. 機能・性能試験	高	13M	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	27回定期事業者検査時に設置
		2. 本格点検		130M	—	—		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	—		
	計測制御系統施設【その他設備】その他の弁	1. 機能・性能試験	高	B	—	27回	1次系弁検査	
		2. 分解点検		52M	—	27回		
	計測制御系統施設【その他設備】その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高	B	—	26回	1次系弁検査	
		2. 分解点検		52M	—	26回		
		3. 簡易点検（特性試験）		26M～52M	○	27回		
	計測制御系統施設【その他設備】その他機器	1. 分解点検他	高	3M～312M	○	27回		
		1. 分解点検他	低	13M～234M	○	27回		一部プラント運転中 一部BMあり
	放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処 理設備】	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	気体廃棄物処理系機能検査	先行実施 （振動診断：6 M）
		2. 分解点検		52M	○	27回		
	B ガス圧縮機・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	気体廃棄物処理系機能検査	先行実施 （振動診断：6 M）
		2. 分解点検		52M	—	27回		
		1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	気体廃棄物処理系機能検査	先行実施
	ガス減衰タンク受入弁	2. 分解点検		130M	—	27回		
		3. 簡易点検（特性試験他）		65M	○	27回		
		1. 分解点検	高	130M	—	27回	1次系破壊板検査	先行実施
	A ガス減衰タンク破壊板	1. 1個	高	130M	—	26回	1次系破壊板検査	先行実施
	B ガス減衰タンク破壊板	1. 1個	高	130M	—	26回	1次系破壊板検査	先行実施
	C ガス減衰タンク破壊板	1. 1個	高	130M	—	26回	1次系破壊板検査	先行実施
	D ガス減衰タンク破壊板	1. 1個	高	130M	—	27回	1次系破壊板検査	先行実施

機器又は系統名	実施機（機器名）		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術	
									先行実施	
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処 理設備〕	ほう酸回収装置	1式	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	液体廃棄物処理系機能検査	先行実施	
			2. 分解点検		65M～130M	○	27回			
	廃液蒸発装置	1式	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	液体廃棄物処理系機能検査	先行実施	
			2. 分解点検		65M～130M	－	27回			
	廃樹脂処理装置	1式	1. 機能・性能試験	低	1F	－	27回	廃樹脂処理装置運転性能検査	先行実施	
			2. 分解点検		13M～208M	○	27回			
			3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M～364M	○	27回			
	A廃液給水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 （振動診断：4 M（対象：ポンプ）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
			2. 分解点検（ポンプ）		CBM	－	26回			
			2. 分解点検（電動機）		156M	－	27回			
			3. 簡易点検（潤滑油入替他）		26M	○	27回			
	B廃液給水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B※	－	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 （振動診断：4 M（対象：ポンプ）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
			2. 分解点検（ポンプ）		CBM	－	16回			
			2. 分解点検（電動機）		156M	－	23回			
			3. 簡易点検（潤滑油入替他）		26M	－	27回			
	A補助建屋サンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
			2. 分解点検（ポンプ）		260M	－	27回			
			2. 分解点検（電動機）		91M	－	27回			
	B補助建屋サンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
			2. 分解点検（ポンプ）		260M	－	17回			
			2. 分解点検（電動機）		91M	－	27回			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備（診断技術）
放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処 理設備】	A サンプタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		260M	－	27回		先行実施
		2. 分解点検（電動機）		182M	－	23回		先行実施 保全の有効性評価結果No. 4の反映
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		39M	－	27回		
	B サンプタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		260M	－	27回		先行実施
		2. 分解点検（電動機）		169M	－	22回		先行実施 保全の有効性評価結果No. 5の反映
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		39M	○	27回		
	A 冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	○	27回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		26M	○	27回		
		2. 分解点検（電動機）		65M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	B 冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		26M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	A 格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		52M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	27回		
	B 格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		52M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	27回		

機器又は系統名	実施機（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処 理設備〕	ホールドアップタンク循環ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M（対象：ポンプ）) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No.6の反映
		2. 分解点検（ポンプ）		CBM	－	10回		
		2. 分解点検（電動機）		91M	－	23回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		39M	○	27回		
	Aホールドアップタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	24回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M（対象：ポンプ）) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No.7の反映
		2. 分解点検（ポンプ）		CBM	－	12回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	24回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		39M	○	27回		
	Bホールドアップタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	○	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M（対象：ポンプ）) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No.8の反映
		2. 分解点検（ポンプ）		CBM	－	15回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	○	23回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		39M	－	27回		
	A洗じょう排水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M（対象：ポンプ）) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		CBM	－	26回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		26M	○	27回		
	B洗じょう排水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	○	27回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M（対象：ポンプ）) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		CBM	－	25回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	○	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		26M	－	27回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処 理設備〕	A 洗じょう排水モニタポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 （振動診断：4 M（対象：ポンプ）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 9の反映
		2. 分解点検（ポンプ）		CBM	－	14回		
		2. 分解点検（電動機）		156M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		39M	○	27回		
	B 洗じょう排水モニタポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 （振動診断：4 M（対象：ポンプ）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 10の反映
		2. 分解点検（ポンプ）		CBM	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		156M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		39M	－	27回		
	A モニタタシクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 （振動診断：4 M（対象：ポンプ）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 11の反映
		2. 分解点検（ポンプ）		CBM	－	10回		
		2. 分解点検（電動機）		104M	－	23回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		39M	－	27回		
	B モニタタシクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	22回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 （振動診断：4 M（対象：ポンプ）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 12の反映
		2. 分解点検（ポンプ）		CBM	－	12回		
		2. 分解点検（電動機）		104M	－	22回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		39M	－	27回		
	A 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 （振動診断：4 M（対象：ポンプ）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 13の反映
		2. 分解点検（ポンプ）		CBM	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		156M	－	23回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		39M	－	27回		
	B 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 （振動診断：4 M（対象：ポンプ）） ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 14の反映
		2. 分解点検（ポンプ）		CBM	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		156M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		39M	○	27回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備（診断技術）
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処 理設備〕	廃樹脂貯蔵室Aサンプタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		260M	－	27回		先行実施
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		先行実施
		1. 機能・性能試験		B※	○	27回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		260M	○	16回		先行実施
		2. 分解点検（電動機）		156M	－	27回		先行実施
	廃樹脂貯蔵室Bサンプタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		260M	－	27回		先行実施
		2. 分解点検（電動機）		91M	－	27回		先行実施
		1. 機能・性能試験		B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		260M	－	22回		先行実施
		2. 分解点検（電動機）		91M	－	27回		先行実施
	廃樹脂貯蔵室Cサンプタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	－	27回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		260M	－	22回		先行実施
		2. 分解点検（電動機）		91M	－	27回		先行実施
		1. 機能・性能試験		B※	○	26回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		260M	○	－		先行実施
		2. 分解点検（電動機）		104M	－	23回		先行実施
	A廃樹脂処理装置サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	○	26回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		260M	○	－		先行実施
		2. 分解点検（電動機）		104M	－	23回		先行実施
		1. 機能・性能試験		B※	○	26回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検（ポンプ）		260M	○	－		先行実施
		2. 分解点検（電動機）		104M	－	26回		先行実施
	A固化建屋床ドレンタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※1	○	9回※2	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※1：ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実 施 ※2：アス固化定検回次、今回は27回定検
		2. 分解点検（ポンプ）		260M	－	9回※2		
		2. 分解点検（電動機）		260M	○	3回※2		
		1. 機能・性能試験		B※1	○	11回※2	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※1：ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実 施 ※2：アス固化定検回次、今回は27回定検
		2. 分解点検（ポンプ）		260M	－	11回※2		
		2. 分解点検（電動機）		260M	○	8回※2		
	B固化建屋床ドレンタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※1	－	22回※2	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※1：ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実 施 ※2：アス固化定検回次、今回は27回定検
		2. 分解点検（ポンプ）		260M	－	22回※2		
		2. 分解点検（電動機）		260M	－	22回※2		
		1. 機能・性能試験		B※1	－	22回※2	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※1：ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実 施 ※2：アス固化定検回次、今回は27回定検
		2. 分解点検（ポンプ）		260M	－	22回※2		
		2. 分解点検（電動機）		260M	－	22回※2		

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
	格納容器内高圧レンジエアモニタ	4回							
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	格納容器じんあいモニタ（1R-11）		1. 特性試験	高	13M	○	27回	エアモニタ機能検査	
			1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回		
			2. 特性試験		13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器ガスモニタ（1R-12）		1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回		
			2. 特性試験		13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	補助建屋排気筒ガスモニタ（1R-14）		1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回		
			2. 特性試験		13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	脱水器空気抽出器ガスモニタ（1R-15）		1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回		
			2. 特性試験		13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	1次系補機冷却水モニタ（1R-17A）		1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回		
			2. 特性試験		13M	○	27回		
	1次系補機冷却水モニタ（1R-17B）		1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回		
			2. 特性試験		13M	○	27回		
	廃棄物処理設備排水モニタ（1R-18）		1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	放射線監視装置機能検査	
			2. 特性試験		13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	蒸気発生器ブローダウン水モニタ（1R-19）		1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回		
			2. 特性試験		13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	放水口水モニタ（12R-21）		1. 特性試験	低	13M	○	27回		
	格納容器排気筒ガスモニタ（1R-24）		1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回		
			2. 特性試験		13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	1次系補助蒸気復水モニタ（1R-26）		1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回		
			2. 特性試験		13M	○	27回		
	タービンサンプ水モニタ（1R-30）		1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回		
			2. 特性試験		13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	焼酎貯蔵室じんあいモニタ（R-35）	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回		
		2. 特性試験		13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	焼酎貯蔵室ガスモニタ（R-36）	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回		
		2. 特性試験		13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	焼酎処理建屋排気ガスモニタ（R-38）	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回		
		2. 特性試験		13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	冷却材建屋モニタ（1R-41）	1. 特性試験	低	13M	○	27回		
		1. 特性試験		13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	A 高感度型主蒸気管モニタ（1R-65）	1. 特性試験	高	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	B 高感度型主蒸気管モニタ（1R-66）	1. 特性試験	高	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	C 高感度型主蒸気管モニタ（1R-67）	1. 特性試験	高	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	同化建屋排気ガスモニタ（12R-75）	1. 機能・性能試験	低	1F	○	29回※		先行実施 ※アス固化定検回次、今回は30回定検
		2. 特性試験		13M	○	29回※	放射線監視装置機能検査	
	焼却炉排ガスモニタ（12R-76）	1. 機能・性能試験	低	1F	○	29回※		先行実施 ※アス固化定検回次、今回は30回定検
		2. 特性試験		13M	○	29回※	放射線監視装置機能検査	
	焼却炉排ガスダストモニタ（12R-77）	1. 機能・性能試験	低	1F	○	29回※		先行実施 ※アス固化定検回次、今回は30回定検
		2. 特性試験		13M	○	29回※	放射線監視装置機能検査	
	同化建屋補助蒸気復水モニタ（12R-78）	1. 機能・性能試験	低	1F	○	29回※		先行実施 ※アス固化定検回次、今回は30回定検
		2. 特性試験		13M	○	29回※	放射線監視装置機能検査	
	格納容器排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）（1R-80A）	1. 特性試験	高	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
		1. 特性試験		13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）（1R-80B）	1. 特性試験	高	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
		1. 特性試験		13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	補助建屋排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）（1R-81A）	1. 特性試験	高	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
		1. 特性試験		13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	補助建屋排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）（1R-81B）	1. 特性試験	高	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
		1. 特性試験		13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （○内は適用する設備診断技術）
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	A主蒸気管モニタ（1R-87）	1. 特性試験	高	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	B主蒸気管モニタ（1R-88）	1. 特性試験	高	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	C主蒸気管モニタ（1R-89）	1. 特性試験	高	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	中央制御室エリアモニタ（12R-1）	1. 特性試験	低	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	原子炉格納容器エリアモニタ（1R-2）	1. 特性試験	低	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	放射化学室エリアモニタ（12R-3）	1. 特性試験	低	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	充てんポンプ室エリアモニタ（1R-4）	1. 特性試験	低	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット区域エリアモニタ（1R-5）	1. 特性試験	低	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	サンブル室エリアモニタ（12R-6）	1. 特性試験	低	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	炉内計装区域エリアモニタ（1R-7）	1. 特性試験	低	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	ドラム詰室エリアモニタ（1R-8）	1. 特性試験	低	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	ガス圧縮機室エリアモニタ（1R-51）	1. 特性試験	低	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	廃樹脂貯蔵室エリアモニタ（R-56）	1. 特性試験	低	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料輸送客器保管建屋エリアモニタ（R-57）	1. 特性試験	低	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	
	充てん操作エリアモニタ（12R-71）	1. 特性試験	低	13M	○	29回※	放射線監視装置機能検査	先行実施 ※アス固化定検回次、今回は30回定検
	固化建屋制御室エリアモニタ（12R-72）	1. 特性試験	低	13M	○	29回※	放射線監視装置機能検査	先行実施 ※アス固化定検回次、今回は30回定検
	焼却灰取出室エリアモニタ（12R-73）	1. 特性試験	低	13M	○	29回※	放射線監視装置機能検査	先行実施 ※アス固化定検回次、今回は30回定検
	雑固体分別エリアモニタ（12R-74）	1. 特性試験	低	13M	○	29回※	放射線監視装置機能検査	先行実施 ※アス固化定検回次、今回は30回定検
	野外モニタ 1. 固定式周辺モニタリング設備 （1）モニタステーション （2）モニタポスト 2. 移動式周辺モニタリング設備 （1）エリアモニタ （2）よう素モニタ	1. 特性試験	低	1F	○	27回	野外モニタ機能検査	一部先行実施
	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕その他 機器	1. 分解点検他	高	12M～120M	○	27回		
		1. 分解点検他	低	6M～96M	○	27回		
	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ	1. 特性試験	高	13M	○	27回	放射線監視装置機能検査	27回定期作業者検査時に設置

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （○ 内は適用する 設備診断技術）
放射線管理施設 〔生体遮蔽装置〕	中央制御室遮蔽	1. 漏えい試験	高	6V	－	－	中央制御室の居住性確認検査	
	緊急時対策所遮蔽	1. 漏えい試験	高	1V	○	26回※	緊急時対策所の居住性確認検査	27回定期事業者検査時に設置 ※3号機での実績
	放射線管理施設〔生体遮蔽装置〕その他機器	1. 外観点検	高	3M～1F	○	26回※		27回定期事業者検査時に設置 ※3号機での実績
放射線管理施設 〔換気設備〕	格納容器排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1次系換気空調設備検査	先行定検
		2. 開放点検		78M	－	27回		
	A格納容器浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		78M	○	27回		
	B格納容器浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		78M	－	27回		
	アニュウラス循環排気系	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	アニュウラス循環排気系機能検査	
		1. よう素フィルタ性能検査（よう素除去効率検査）	高	1F	○	27回	アニュウラス循環排気系フィルタ－性能検査	A系、B系交互に実施
	A、Bアニュウラス循環排気フィルタユニット	1. よう素フィルタ性能検査（よう素除去効率検査）	高	1F	○	27回	アニュウラス循環排気系フィルタ－性能検査	
		2. 開放点検		78M	－	27回		
中央制御室非常用循環系	A系	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	1次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		78M	－	27回		
	B系	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	1次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		78M	－	27回		
	中央制御室非常用循環系	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	中央制御室非常用循環系機能検査	
		2. 開放点検		78M	－	27回		
	中央制御室非常用循環系	1. よう素フィルタ性能検査（よう素除去効率検査）	高	1F	○	27回	中央制御室非常用循環系フィルタ－性能検査	
		2. 開放点検		78M	－	27回		
	中央制御室非常用循環系	1. よう素フィルタ性能検査（よう素除去効率検査）	高	1F	○	27回	中央制御室非常用循環系フィルタ－性能検査	
		2. 開放点検		78M	－	27回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
放射線管理施設 【換気設備】	出入管理室フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		13M	○	27回		
	補助建屋よう素除去排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験（よう素フィルタ性能検査）	高	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	
		1. 機能・性能試験		1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		78M	－	27回		
		2. 開放点検（よう素フィルタ取替）		X※	－	24回		※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施
	A 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		78M	○	27回		
	B 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		78M	○	27回		
	12 焼酎貯蔵室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		78M	○	27回		
	ペーラ排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		78M	○	27回		
	1 次系工作室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		78M	○	27回		
	1・2 A 固化建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	29回※	1 次系換気空調設備検査	先行実施 ※アス固化定検回次、今回は30回定検
		2. 開放点検		78M	－	25回※		
	1・2 B 固化建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	29回※	1 次系換気空調設備検査	先行実施 ※アス固化定検回次、今回は30回定検
		2. 開放点検		78M	－	26回※		
	1・2 焼酎処理建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		260M	－	25回		
	1・2 固体廃棄物固型化処理建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	29回※	1 次系換気空調設備検査	先行実施 ※アス固化定検回次、今回は30回定検
		2. 開放点検		78M	－	25回※		
	緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験（よう素フィルタ性能検査）	高	1V	○	26回※	可搬型換気空調設備検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 27回定明事業者検査時に設置 ※3号機での実績

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
放射線管理施設 【換気設備】	A 開御建屋冷暖房ユニット	1. 開放点検	高	52M	－	27回		
	B 制御建屋冷暖房ユニット	1. 開放点検	高	52M	－	27回		
	格納容器送気冷暖房ユニット	1. 開放点検	低	52M	－	27回		先行実施
	A 補助建屋送気冷暖房ユニット	1. 開放点検	低	52M	－	27回		
	B 補助建屋送気冷暖房ユニット	1. 開放点検	低	52M	－	27回		
	A 格納容器送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検（ファン） 2. 分解点検（電動機） 3. 簡易点検（Vベルト調整）	低	1F 260M CBM 13M	○ ○ － ○	27回 12回 22回 27回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 （振動診断；2 M）
	B 格納容器送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検（ファン） 2. 分解点検（電動機） 3. 簡易点検（Vベルト調整）	低	1F 260M CBM 13M	○ ○ － ○	27回 14回 22回 27回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 （振動診断；2 M）
	A 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検（ファン） 2. 分解点検（電動機） 3. 簡易点検（潤滑油入替他）	低	1F 260M CBM 13M	○ ○ － ○	27回 27回 27回 27回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 （振動診断；2 M）
	B 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検（ファン） 2. 分解点検（電動機） 3. 簡易点検（潤滑油入替他）	低	1F 260M CBM 13M	○ ○ － ○	27回 14回 27回 27回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 （振動診断；2 M）

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
放射線管理施設 【換気設備】	A 格納容器循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検（ファン）		39M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	27回		
	B 格納容器循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検（ファン）		39M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	27回		
	C 格納容器循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検（ファン）		39M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	27回		
	A 格納容器浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	18回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		
	B 格納容器浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	16回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		
	A アンニュラス循環排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断：1M)
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		
	B アンニュラス循環排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断：1M)
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
放射線管理施設 【換気設備】	A 制御建屋送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断：4 M) 一部プラント運転中 保全の有効性評価結果No. 15の反映
		2. 分解点検（ファン）		78M	○	25回		
		2. 分解点検（電動機）		CBM	－	27回		
		3. 簡易点検（Vベルト調整）		26M	○	26回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		6M	○	27回		
	B 制御建屋送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断：4 M) 一部プラント運転中 保全の有効性評価結果No. 16の反映
		2. 分解点検（ファン）		78M	○	25回		
		2. 分解点検（電動機）		CBM	－	27回		
		3. 簡易点検（Vベルト調整）		26M	○	26回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		6M	○	27回		
	A 制御建屋循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断：4 M)
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	26回		
		2. 分解点検（電動機）		130M	－	27回		
	B 制御建屋循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断：4 M)
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		130M	－	27回		
	A 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断：1 M) 一部プラント運転中
		2. 分解点検（ファン）		78M	○	27回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	○	27回		
		3. 簡易点検（Vベルト調整）		6M	○	27回		
	B 中央制御室非常用循環ファン・電動機	3. 簡易点検（潤滑油入替他）	高	6M	○	27回		(振動診断：1 M) 一部プラント運転中
		1. 機能・性能試験		1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検（ファン）		78M	○	27回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		
		3. 簡易点検（Vベルト調整）		6M	○	27回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
放射線管理施設 【換気設備】	A 出入管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検（ファン）		78M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	B 出入管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検（ファン）		78M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	A 補助建屋よう素除去排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	（振動診断：1M） － 部プラント運転中
		2. 分解点検（ファン）		78M	○	27回		
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	27回		
		3. 簡易点検（Vベルト調整）		26M	○	27回		
	B 補助建屋よう素除去排気ファン・電動機	3. 簡易点検（潤滑油入替他）	高	13M	○	27回		
		1. 機能・性能試験		1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	（振動診断：1M） － 部プラント運転中
		2. 分解点検（ファン）		78M	○	27回		
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	27回		
	A 補助建屋送気ファン・電動機	3. 簡易点検（Vベルト調整）	低	26M	○	27回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		6M	○	27回		
		1. 機能・性能試験		1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	（振動診断：3M）
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	26回		
	B 補助建屋送気ファン・電動機	2. 分解点検（電動機）	低	CBM	－	25回		
		3. 簡易点検（Vベルト調整）		13M	○	27回		
		1. 機能・性能試験		1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	（振動診断：3M）
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	23回		
		2. 分解点検（電動機）		CBM	－	22回		
		3. 簡易点検（Vベルト調整）		13M	○	27回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術） （振動診断：6 M）
放射線管理施設 【換気設備】	A補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：6 M)
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	24回		
		2. 分解点検（電動機）		CBM	－	27回		
		3. 簡易点検（Vベルト調整）		13M	○	27回		
	B補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：6 M)
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	25回		
		2. 分解点検（電動機）		CBM	－	27回		
		3. 簡易点検（Vベルト調整）		13M	○	27回		
	C補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：6 M)
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	26回		
		2. 分解点検（電動機）		CBM	－	27回		
		3. 簡易点検（Vベルト調整）		13M	○	27回		
	12廃樹脂貯蔵室送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	25回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		
		3. 簡易点検（Vベルト調整）		26M	○	27回		
	12廃樹脂貯蔵室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	25回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		
		3. 簡易点検（Vベルト調整）		26M	○	27回		
	ペーラ排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	25回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		
		3. 簡易点検（Vベルト調整）		26M	○	27回		
		1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検（ファン）		78M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		156M	－	24回		
		3. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
放射線管理施設 【換気設備】	1 次系工作室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検（ファン）		13M	○	27回		
		2. 分解点検（電動機）		156M	－	27回		
		3. 簡易点検（Vベルト調整）		13M	○	27回		
	A 固体廃棄物固型化処理建屋送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	29回※	1 次系換気空調設備検査	先行実施 ※アス固化定検回次、今回は30回定検
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	26回※		
		2. 分解点検（電動機）		65M	－	27回※		
	B 固体廃棄物固型化処理建屋送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	29回※	1 次系換気空調設備検査	先行実施 ※アス固化定検回次、今回は30回定検
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	27回※		
		2. 分解点検（電動機）		65M	－	27回※		
	A 固体廃棄物固型化処理建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	29回※	1 次系換気空調設備検査	先行実施 ※アス固化定検回次、今回は30回定検
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	28回※		
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	29回※		
	B 固体廃棄物固型化処理建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	29回※	1 次系換気空調設備検査	先行実施 ※アス固化定検回次、今回は30回定検
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	29回※		
		2. 分解点検（電動機）		52M	－	29回※		
	12A 固化建屋換気用送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	29回※	1 次系換気空調設備検査	先行実施（振動診断：4M） ※アス固化定検回次、今回は30回定検
		2. 分解点検（ファン）		CBM	－	12回※		
		2. 分解点検（電動機）		CBM	－	16回※		
	12B 固化建屋換気用送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	29回※	1 次系換気空調設備検査	先行実施（振動診断：4M） ※アス固化定検回次、今回は30回定検
		2. 分解点検（ファン）		CBM	－	13回※		
		2. 分解点検（電動機）		CBM	－	17回※		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （（）内は適用する 設備診断技術）
放射線管理施設 〔換気設備〕	12A 固化建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	29回※	1 次系換気空調設備検査	先行実施（振動診断：4M） ※アス固化定検回次、今回は30回定検
		2. 分解点検（ファン）		CBM	－	17回※		
		2. 分解点検（電動機）		CBM	－	7回※		
		1. 機能・性能試験	低	1F	○	29回※	1 次系換気空調設備検査	先行実施（振動診断：4M） ※アス固化定検回次、今回は30回定検
		2. 分解点検（ファン）		CBM	－	14回※		
		2. 分解点検（電動機）		CBM	－	8回※		
	12A 廃樹脂処理建屋給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 廃樹脂処理設備
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		104M	－	26回		
		1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 廃樹脂処理設備
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	－		
		2. 分解点検（電動機）		104M	－	27回		
	12A 廃樹脂処理建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 廃樹脂処理設備
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	27回		
		2. 分解点検（電動機）		104M	－	27回		
		1. 機能・性能試験	低	1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 廃樹脂処理設備
		2. 分解点検（ファン）		260M	－	－		
		2. 分解点検（電動機）		104M	－	26回		
	緊急時対策所可搬型空気浄化ファン	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回※		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 27回定期事業者検査時に設置 ※3号機での実績
		1. 機能・性能試験		1F	○	27回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検他		65M	－	27回	1 次系換気空調設備検査	
	自動ダンパ	3. 簡易点検（特性試験）	高・低	104M～156M	○	27回		一部先行実施
		1. 機能・性能試験		B	○	27回	1 次系安全弁検査	
		2. 分解点検		104M～130M	○	27回	1 次系弁検査	
	放射線管理施設〔換気設備〕その他の弁	1. 分解点検	高	13M～156M	○	27回		
		1. 分解点検		13M～260M	○	27回		
		1. 分解点検他		12M～260M	○	27回		
	放射線管理施設〔換気設備〕その他機器	1. 分解点検	低	39M	－	27回		一部先行実施 一部BMあり
		1. 分解点検						
		1. 分解点検						
	放射線管理施設〔換気設備〕格納容器自然対流冷却（期）機器	1. 分解点検	高					
		1. 分解点検						
		1. 分解点検						

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
	可観型気象観測装置	1式							
放射線管理施設 【その他設備】 原子炉格納施設 【原子炉格納容器】	可観型気象観測装置	1式	1. 特性試験	高	6M	○	27回		27回定期事業者検査時に設置
	原子炉格納容器		1. 漏えい率試験	高	3F	－	27回	原子炉格納容器全体漏えい率検査	
			2. 非破壊試験		78M	○	27回		
			1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	27回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	エアロック	通常用 1個	2. 分解点検		52M	－	27回		
			3. 簡易点検（バッキン取替）		13M	○	27回		
			1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	27回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		非常用 1個	2. 分解点検		52M	－	27回		
			3. 簡易点検（バッキン取替）		13M	○	27回		
			1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	27回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	機器搬入口	1個	2. 非破壊試験		25%/10Y	－	24回	原子炉格納容器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 【別表-6】
			3. 開放点検		13M	○	27回		
			1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	27回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	配管貫通部	1式	1. 開放点検		開放時※	－	26回		※但し、最長1回/10F
			1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	27回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	電線貫通部	1式	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	27回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
			1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	27回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	原子炉格納容器隔離弁	1式	1. 機能・性能試験（弁、弁駆動部含む）	高	1F	○	27回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	原子炉格納容器隔離信号（T－信号）（及び非常 用高圧母線低電圧信号（UV－信号）との一致に より作動する弁を含む）により隔離される弁	71個	1. 機能・性能試験（弁、弁駆動部含む）	高	1F	○	27回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	原子炉格納容器スプレイ信号（P－信号）により 隔離される弁	25個	1. 機能・性能試験（弁、弁駆動部含む）	高	1F	○	27回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	

機器又は系統名	実施版（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器隔離弁	1A0V-8149A	高	52M	○	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1A0V-8149B	高	52M	○	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1A0V-8149C	高	52M	○	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1A0V-8152	高	52M	—	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1A0V-9170	高	104M	—	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1LCV-1003	高	104M	—	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1A0V-5138	高	130M	—	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1MOV-5141A	高	130M	○	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1MOV-5141B	高	130M	○	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1MOV-5298	高	130M	○	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1MOV-5155	高	130M	—	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1MOV-5299	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1FCV-1241	高	130M	—	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1MOV-8100	高	130M	—	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1MOV-8112	高	130M	—	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1A0V-9352A	高	104M	—	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1A0V-9352B	高	104M	—	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1VS-41A	高	130M	—	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1VS-41B	高	130M	—	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1VS-41C	高	130M	—	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1VS-41D	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1VS-41E	高	130M	—	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕	原子炉格納容器隔離弁	1. 1. 分解点検	高	130M	－	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 1. 分解点検	高	130M	－	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 1. 分解点検	高	130M	－	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 1. 分解点検	高	130M	－	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 1. 分解点検	高	130M	－	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 1. 分解点検	高	104M	－	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 1. 分解点検	高	104M	－	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 1. 分解点検	高	130M	－	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 1. 分解点検	高	130M	－	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 1. 分解点検	高	130M	－	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 1. 分解点検	高	130M	－	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 1. 分解点検	高	130M	－	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 1. 分解点検	高	260M	－	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 1. 分解点検	高	260M	－	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 1. 分解点検	高	130M	－	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 1. 分解点検	高	130M	－	27回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 1. 分解点検	高	130M	○	27回		
		1. 1. 分解点検他	高	13M～156M	○	27回		
	原子炉格納容器隔離弁駆動部	1. 機能・性能試験	高	1F	○	27回	原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	
		2. 分解点検（エアシリンダ）		130M	－	27回		
	原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕その他の弁	1. 機能・性能試験	高	B	－	27回		
		1. 機能・性能試験	高・低	B	－	27回	1次承安全弁検査	
		2. 分解点検		52M～130M	－	27回	1次承弁検査	
		3. 簡易点検（グラントパッキン取替）		78M	－	27回		
		1. 機能・性能試験	高・低	B	○	27回		
原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕その他の機器	原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕その他の弁駆動部	2. 分解点検		156M	○	27回		
		1. 分解点検他	高	13M～130M	○	27回		
	原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕その他機器	1. 分解点検他	低	13M～104M	○	27回		一部BMあり

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
原子炉格納施設 【圧力低減設備その他の安全設 備】	原子炉格納容器スプレイ系	1.機能・性能試験（ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む） 1.機能・性能試験（状態監視含む）	高	1F 6M	○ ○	27回 27回	原子炉格納容器安全系機能検査 その他原子炉注水系機能検査	プラント運転中 【対象設備】 ・A、B、C、D内部スプレポンプ (振動診断：1M)
		1.分解点検（ポンプ） 1.分解点検（電動機） 2.簡易点検（潤滑油入替他）	高	104M 104M 26M	－ － ○	27回 27回 27回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	A内部スプレポンプ・電動機	1.分解点検（ポンプ） 1.分解点検（電動機） 2.簡易点検（潤滑油入替他）	高	104M 104M 26M	－ － ○	27回 27回 27回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)
		1.分解点検（ポンプ） 1.分解点検（電動機） 2.簡易点検（潤滑油入替他）	高	104M 104M 26M	－ － ○	27回 27回 27回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	B内部スプレポンプ・電動機	1.分解点検（ポンプ） 1.分解点検（電動機） 2.簡易点検（潤滑油入替他）	高	104M 104M 26M	－ － ○	27回 27回 27回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)
		1.分解点検（ポンプ） 1.分解点検（電動機） 2.簡易点検（潤滑油入替他）	高	104M 104M 26M	－ － ○	27回 27回 27回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	C内部スプレポンプ・電動機	1.分解点検（ポンプ） 1.分解点検（電動機） 2.簡易点検（潤滑油入替他）	高	104M 104M 26M	－ － ○	27回 27回 27回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)
		1.分解点検（ポンプ） 1.分解点検（電動機） 2.簡易点検（潤滑油入替他）	高	104M 104M 26M	－ － ○	27回 27回 27回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	D内部スプレポンプ・電動機	1.分解点検（ポンプ） 1.分解点検（電動機） 2.簡易点検（潤滑油入替他）	高	104M 104M 26M	－ － ○	27回 27回 27回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)
		1.分解点検（ポンプ） 1.分解点検（電動機） 2.簡易点検（潤滑油入替他）	高	104M 104M 26M	－ － ○	27回 27回 27回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	A内部スプレクレーラ	1.開放点検（管側） 1.開放点検（胴側） 2.非破壊試験	高	130M 130M 130M	－ － －	27回 － 27回	1次系熱交換器検査	
		1.開放点検（管側） 1.開放点検（胴側） 2.非破壊試験	高	130M 130M 130M	－ － －	27回 － 27回	1次系熱交換器検査	
	B内部スプレクレーラ	1.開放点検（管側） 1.開放点検（胴側） 2.非破壊試験	高	130M 130M 130M	－ － －	27回 － 27回	1次系熱交換器検査	
		1.開放点検（管側） 1.開放点検（胴側） 2.非破壊試験	高	130M 130M 130M	－ － －	27回 － 27回	1次系熱交換器検査	
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁	1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検	高 高 高 高	130M 130M 130M 130M	－ － － －	27回 27回 27回 27回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検	高 高 高 高	130M 130M 130M 130M	－ － － －	27回 27回 27回 27回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検	高 高 高 高	130M 130M 130M 130M	－ － － －	27回 27回 27回 27回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検	高 高 高 高	130M 130M 130M 130M	－ － － －	27回 27回 27回 27回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子炉格納施設 【圧力低減設備その他の安全設備】	原子炉格納容器スプレレイ系主要弁駆動部	1式	1. 分解点検	高	156M	－	27回		
	よう素除去薬品タンク		1. 開放点検	高	130M	－	27回		
	よう素除去薬品タンクハキュームリリーフ弁		1. 分解点検	高	130M	－	27回	1次系真空破壊弁検査	
	協的触媒式水素再結合装置	5台	1. 外観点検 2. 機能・性能試験	高	1F 5F	○ －	－		27回定期事業者検査時に設置
	原子炉格納容器水素燃焼装置	13台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	－	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	27回定期事業者検査時に設置
	1次系計測制御装置	1式	1. 特性試験	高	13M	○	27回	計測制御系監視機能検査	27回定期事業者検査時に設置
	原子炉格納施設【圧力低減設備その他の安全設備】その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	B 130M	－ ○	27回	1次系安全弁検査	
	原子炉格納施設【圧力低減設備その他の安全設備】その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	B	－	18回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
	原子炉格納施設【圧力低減設備その他の安全設備】その他の弁駆動部	1式	1. 分解点検	高	156M～182M	－	27回		
	原子炉格納施設【圧力低減設備その他の安全設備】その他機器	1式	1. 分解点検他 2. 漏えい試験	高 低	65M～260M 156M～182M	○ －	27回		
原子炉設備 【その他設備】	その他AM（代替再循環、格納容器内注入）機器	1式	1. 分解点検他	高	130M	－	27回		一部BMあり
	クラス1機器（供用期間中検査対象） （重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む）	1式	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	7V 1F	○ ○	27回	クラス1 機器供用期間中検査 クラス1 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 【別表-1】
	クラス2機器（供用期間中検査対象） （重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む）	1式	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10V 10V	○ ○	27回	クラス2 機器供用期間中検査 クラス2 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 【別表-2】
	クラス3機器（供用期間中検査対象）	1式	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10V	○	27回	クラス3 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 【別表-3】
	クラス1 機器NSI基合使用部位 （供用期間中検査対象を除く） （重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む）	1式	1. 非破壊検査	高	3.5V～7V	－	26回	供用期間中特別検査のうちクラス1 機器NSI基合使用部位特別検査	ISIプログラムによる。 【別表-4】
	クラス2 管（原子炉格納容器内） （重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む）	1式	1. 非破壊試験	高	10V	○	27回	供用期間中特別検査のうちクラス2 管（原子炉格納容器内）特別検査	ISIプログラムによる。 【別表-5】
	蒸気発生器管台 （重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む）	1式	1. 非破壊試験	高	10V	○	－	供用期間中特別検査のうちクラス蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査	ISIプログラムによる。 【別表-1】

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
	重大事故等クラス2機器	1式	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験						
原子力設備 【その他設備】	重大事故等クラス3機器	1式	1. 漏えい検査	高	10Y	○	27回	重大事故等クラス2機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 【別表-8】
	重大事故等クラス3機器	1式	1. 漏えい検査	高	10Y	○	27回	重大事故等クラス2機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 【別表-9】 28回定期事業者検査より設定
	クラス4配管特別検査	1式	1. 非破壊検査	高	1F	○	—	供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査	ISIプログラムによる。 【別表-10】 28回定期事業者検査より設定
	クラス3機器、クラス4管、排気筒及び安全上重要なダクト耐圧部（クラス3機器ISIを除く）	1式	1. 外観点検	高・低	5Y～10Y	○	27回	構造健全性検査	
原子力設備・タービン設備 【その他設備】	RCPBのベント・ドレン弁の閉止栓	1式	1. 漏えい試験	高	1F	○	27回	構造健全性検査	
	レストレイント	1式	1. 外観点検	高	10Y	—	26回	レストレイント検査	
	1. 加圧器サージ管ホイップレストレイント 2. 主蒸気配管ホイップレストレイント 3. 主給水配管ホイップレストレイント	1式	1. 分解点検	高・低	130M～260M	—	27回	1次系逆止弁検査	
	原子力設備【その他設備】その他の弁	1式	1. 分解点検	高	1M～260M	○	27回	構造健全性検査	保全の有効性評価結果No. 17の反映
	原子力設備【その他設備】その他の機器	1式	1. 分解点検	低	1M～260M	○	27回		一部BMあり
	耐震クラスS、Bに属する設備の支持構造物（クラス1, 2, 3供用期間中検査対象機器を除く）	1式	1. 外観点検	高・低	10Y	○	27回	耐震健全性検査	
	その他AM（格納容器内注水）機器	1式	1. 分解点検	高	12M～130M	○	27回		一部ブランド運転中
	高圧タービン		1. 開放点検	高	39M	—	27回	蒸気タービン開放検査	保全の有効性評価結果No. 18の反映
			2. 組立状況点検		B	—	26回	蒸気タービン開放検査	
			3. 簡易点検（軸受箱内部清掃他）		13M	○	27回		
	第1低圧タービン		1. 開放点検	高	39M	○	26回	蒸気タービン開放検査	保全の有効性評価結果No. 19の反映
			2. 組立状況点検		X	—	27回	蒸気タービン開放検査	
蒸気タービン 【車室、戸板、隔板、噴口、 翼、車軸】			3. 簡易点検（軸受箱内部清掃他）		13M	○	27回		
	第2低圧タービン		1. 開放点検	高	39M	—	27回	蒸気タービン開放検査	保全の有効性評価結果No. 20の反映
			2. 組立状況点検		X	○	26回	蒸気タービン開放検査	
			3. 簡易点検（軸受箱内部清掃他）		13M	○	27回	蒸気タービン開放検査	
	第3低圧タービン		1. 開放点検	高	39M	—	27回	蒸気タービン開放検査	保全の有効性評価結果No. 21の反映
			2. 組立状況点検		X	○	27回	蒸気タービン開放検査	
			3. 簡易点検（軸受箱内部清掃他）		13M	○	27回	蒸気タービン開放検査	
	ロータ		1. 組立状況点検	高	13M	○	27回	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		X	○	27回	蒸気タービン開放検査	
			3. 簡易点検（軸受箱内部清掃他）		13M	○	27回	蒸気タービン開放検査	
	タービン本体及び附属設備		1. 組立状況点検	高	B	○	27回	蒸気タービン開放検査	タービン開放時期に合わせて実施
			2. 保安装置点検	高	1F	○	27回	蒸気タービン性能検査	一部定期事業者検査起動後
			3. 負荷点検	高	1F	○	27回	総合負荷性能検査	定期事業者検査起動後

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
蒸気タービン 〔調速装置及び非常調速装置並 びに調速装置で制御される主要 弁〕	# 1 主蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	○	27回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	○	27回	蒸気タービン開放検査	
	# 2 主蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	○	27回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	○	27回	蒸気タービン開放検査	
	# 3 主蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	○	27回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	○	27回	蒸気タービン開放検査	
	# 4 主蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	○	27回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	○	27回	蒸気タービン開放検査	
	# 1 蒸気加減弁	1. 開放点検	高	39M	○	27回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	○	27回	蒸気タービン開放検査	
	# 2 蒸気加減弁	1. 開放点検	高	39M	○	27回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	○	27回	蒸気タービン開放検査	
	# 3 蒸気加減弁	1. 開放点検	高	39M	○	27回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	○	27回	蒸気タービン開放検査	
	# 4 蒸気加減弁	1. 開放点検	高	39M	○	27回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	○	27回	蒸気タービン開放検査	
	1 A 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	－	27回	蒸気タービン開放検査	
	2 A 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	－	27回	蒸気タービン開放検査	
	3 A 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	－	27回	蒸気タービン開放検査	
	1 B 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	－	26回	蒸気タービン開放検査	
	2 B 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	－	26回	蒸気タービン開放検査	
	3 B 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	－	26回	蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時 期（定検回 次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
蒸気タービン 〔調速装置及び非常調速装置並 びに調速装置で制御される主要 弁〕	1 Aインターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	－	27回	蒸気タービン開放検査	
	2 Aインターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	－	27回	蒸気タービン開放検査	
	3 Aインターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	－	27回	蒸気タービン開放検査	
	1 Bインターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	－	26回	蒸気タービン開放検査	
	2 Bインターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	－	26回	蒸気タービン開放検査	
	3 Bインターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	－	26回	蒸気タービン開放検査	
	調速装置（非常調速装置）	1. 外観点検	高	13M	○	27回	蒸気タービン開放検査	
	復水、循環水系統	1. 機能・性能試験 （ポンプ、電動機含む）	高	1F	○	27回	蒸気タービン附属設備機能検査	定期事業者検査起動後
	復水器	1. 開放点検	高	13M	○	27回	蒸気タービン開放検査	
		2. 防汚塗装		26M	○	27回		
蒸気タービン 〔復水器〕	A循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検（ポンプ）	高	26M	－	27回		
		1. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		
		2. 簡易点検（潤滑油入替他）		26M	－	27回		
	B循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検（ポンプ）	高	26M	○	27回		
		1. 分解点検（電動機）		78M	－	27回		
		2. 簡易点検（潤滑油入替他）		26M	○	27回		
	A復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検（ポンプ）	高	78M	－	27回	先行実施 （振動診断：3 M）	先行実施 （振動診断：3 M） 保全の有効性評価結果No. 22の反映
		1. 分解点検（電動機）		CBM	－	22回		
		2. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	B復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検（ポンプ）	高	78M	－	27回	先行実施 （振動診断：3 M）	先行実施 （振動診断：3 M） 保全の有効性評価結果No. 23の反映
蒸気タービン 〔復水器〕		1. 分解点検（電動機）		CBM	－	18回		
		2. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		
	C復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検（ポンプ）	高	78M	－	27回	先行実施 （振動診断：3 M）	先行実施 （振動診断：3 M） 保全の有効性評価結果No. 24の反映
		1. 分解点検（電動機）		CBM	－	15回		
		2. 簡易点検（潤滑油入替他）		13M	○	27回		